

事業者名	所在地・連絡先	営業時間	商品名	原材料・副資材	肥料成分(%)				販売形態及び価格(税込み)	配達可能地域/料金	備考
					窒素	リン酸	加里	水分			
株式会社 さいとう農場	遠田郡涌谷町小塚字笠石山56 TEL:090-9741-5348	9:00 ～17:00 (土日休)	なし	乳牛ふん、 もみ殻	0.3	0.3	0.5	78.2	2,000円 /2tダンブ	美里町、涌谷町： 涌谷町内3,000円、町外 4,000円/2tダンブ(堆肥代 込)	農繁期対応不可の 場合有
ジャパンデイリー ファーム株式会社 わくや高原牧場 (担当：高野)	遠田郡涌谷町成沢字古清水15 TEL:0229-46-1055 FAX:0229-46-1056 Mail:k.takano@idf.co.jp	8:00 ～17:00 (土日休)	なし	乳牛ふん、 おが粉、 キノコ菌床	0.4	0.4	0.7	-	無料	涌谷町、美里町、大崎市、石巻 市、登米市(その他要相談)： 5,000円～/10tダンブ 3,000円～/4tダンブ	配達料金は地域に よって変動
有限会社 ビッグ夢ファーム	遠田郡涌谷町小里字上剣崎45 TEL/FAX:0225-79-3630 Mail:info@pigyumefarm.jp	8:00 ～17:00 (日曜休)	ビッグ夢 ファーム 堆肥1号	豚ふん、 もみ殻、 キノコ菌床	2.9	4.7	1.1	31.6	無料	登米市、涌谷町(その他要相 談)： 3,000円/2tトラック	運搬用2tトラック の貸出可 (1,000円)
涌谷町土づくり センター	遠田郡涌谷町上郡字玉崎山53- 33 TEL:0229-25-8511 (涌谷町産業振興課)	9:00 ～16:00 (第1、第3火 曜日営業)	牛ふん 堆肥	牛ふん、 稲わら、 もみ殻	1.9	2.3	3.4	70.9	3,500円 /2tダンブ、 800円/軽トラ	近隣町域： 涌谷町内1,000円、町外 1,500円/2tダンブ	
沼部エコセンター 齋藤鈴男	大崎市田尻北小生田新一本杉32 TEL:090-2956-3928	9:00 ～17:00 (年末年始休)	なし	豚ふん、 もみ殻、 稲わら	2.4	3.6	2.4	13.9	1,000円/軽ト ラ(約400kg)	近隣町域：2,000円/軽トラ、 5,000円/2tダンブ(約3t (堆肥代込)	5km以内散布対応 可 (5,000円/2tマ ニユア)

R7年12月時点での情報に基づいて記載しています。
必ず事前に連絡し、当事者間で条件等を確認の上ご購入ください。

本資料に掲載した事例は、令和5～7年度にかけて実施した美里農業改良普及センタープロジェクト課題の結果をとりまとめたものです。
共同調査機関：涌谷町・JA新みやぎ涌谷営農センター
本資料に関する問い合わせ先：美里農業改良普及センター
TEL:0229-32-3115
※堆肥販売に関する問い合わせは、各生産・販売業者まで

収量と土づくりの両取り！ 早春にも撒ける堆肥で麦を元気に！ ～小麦栽培における堆肥活用事例紹介～

宮城県美里農業改良普及センター
令和8年1月

早春なら
踏んでも
大丈夫！

マニユアスプレッダーによる早春散布

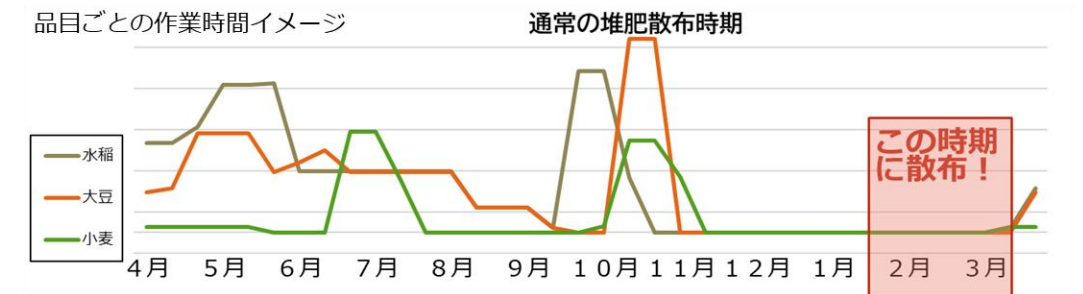
堆肥散布直後の休場
(散布量2t/10a)

～早春堆肥散布の方法～

- ◆ 散布期間は麦3葉期～茎立ちまで（目安は2月～3月中旬）
- ◆ 散布はマニユアスプレッダーで、ほ場が乾いているときに。
- ◆ 牛ふん堆肥1～2t/10aを目安に ※地力・成分に応じて加減

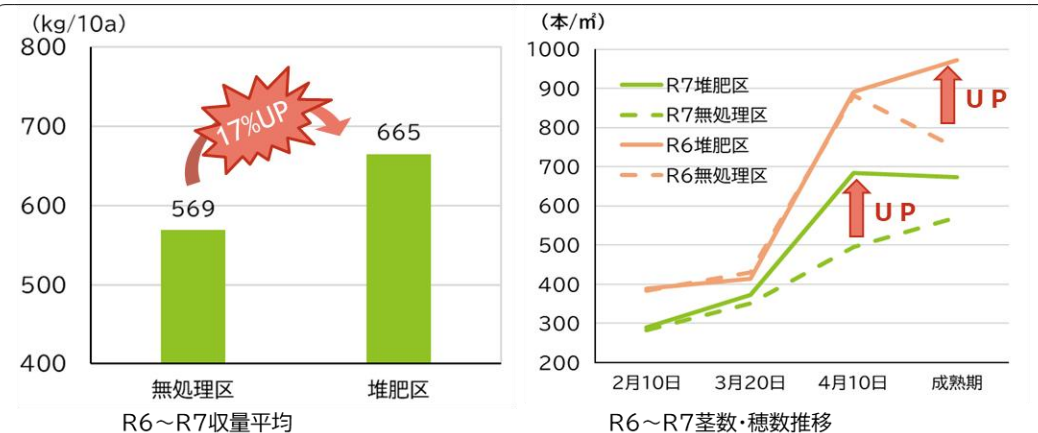
美里管内の土地利用型農業では、水稻・麦・大豆を組み合わせた輪作体系が多いため、次期作までの準備期間がなく、堆肥などの土づくり資材の散布ができないという課題がありました。有機物施用が行われず作付けを続けた結果、地力が低下したほ場も見られます。

そこで、大分県の研究報告を参考に、比較的農作業のゆとりのある早春に小麦の上から堆肥を散布したところ、増収や土づくりの効果が認められた事例がありましたので紹介します。



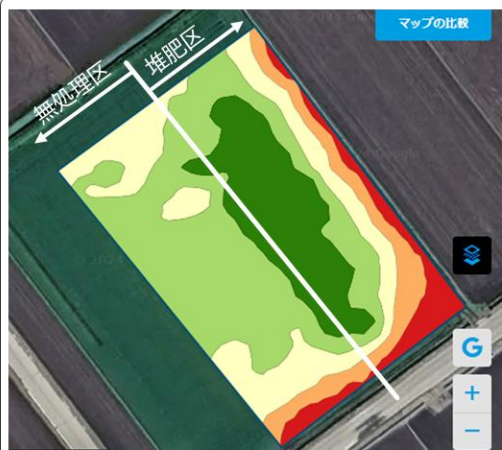
◆ 小麦への効果

堆肥の早春散布を行ったほ場で、麦の生育・収量を調べました。



Case1 ～3年継続して早春堆肥散布したほ場A (約1t/10a)

- ・継続散布2～3年目のほ場では平均で約17%収量がアップしました。
- ・堆肥により、越冬後、分げつが増加する時期の栄養状態が良好になり、穂数が増加しています。



Case2 ～1年早春堆肥散布したほ場B (2t/10a)

- ・収穫直前の空撮画像では、堆肥区で生育量が多いことを示す緑色の濃い部分が多くなり、明らかに生育が良くなっています。
- ・堆肥区の収量は約6%アップしました。

○掲載事例は、栽培品種は「夏黄金」、堆肥は下表成分の牛ふん堆肥を使用し、越冬後の追肥は堆肥散布に関わらず慣行通り行いました。

窒素	リン酸	カリ	C/N比	主な材料
0.4%	0.4%	0.6%	26.6	乳牛ふん、おがくず等

○堆肥の早春散布は、牛ふん堆肥を想定しています。
散布後に多少の葉やけが見られるとの報告がありますが、今回の調査ほどは認められず、また葉やけが見られた場合でも生育への影響はないとされています。

◆ 土壌への効果

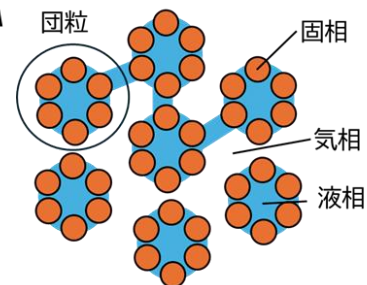
堆肥の早春散布や作付前のすき込みを行ったほ場で、土壌の変化を調べました。

Case1 ～3年継続して早春堆肥散布したほ場A (約1t/10a)

3年堆肥施用後の土壌三相分布

区	仮比重	固相率	液相率	気相	孔隙率
堆肥区	0.74	27.9	32.4	39.8	72.1
無処理区	0.82	31.0	26.5	42.5	69.0

- ・無処理区でも比重は高いものの、堆肥区ではより仮比重が下がり、土が柔らかくなっています。
- ・約1か月ほとんど降雨がない状況で調査していますが、液相率が高く、保水性の向上が認められます。



※土壌の模式図
土壌は固相(土壌粒子)、液相(水)、気相(空気)から構成され、有機物等により固相が結びつき団粒構造が形成されると、団粒の内部に水を蓄えつつ団粒の間を水が通り抜けることにより、保水性・排水性が向上する。

Case2 ～3年連続で作付け前・早春堆肥散布したほ場C

R7作後の
土壌断面



- ・堆肥を3年連用したほ場(写真1)では、近接のほ場で見られた排水不良の層(写真2 赤丸の部分)が見られず、排水良好であることがわかります。

・3年連用後では、堆肥施用前と比べ、石灰やカリなどの成分が多く、CEC(肥料を保持する力)が高くなりました。

・このほ場では、ほ場前歴+堆肥の効果でより高い土壌改良効果が認められました。

堆肥散布前後の土壌成分

採取時期	可給態窒素 NO3-N mg/100g	有効態 リン酸 mg/100g	石灰 (CaO) mg/100g	苦土 (MgO) mg/100g	カリ (K2O) mg/100g	CEC meq/100g	塩基 飽和度 %
R5堆肥施用前	8.4	11	316	83	43	21.9	75
R7麦作後	10.2	16	356	73	49	28.1	62

※可給態窒素はリン酸緩衝液抽出法による簡易分析。